

報道関係者各位

令和2年 9月24日発信

開星の「新型コロナ特別支援策」の発出について

～アフターコロナを生きる生徒のために～

新型コロナウイルスの問題は、中等教育の現場にも大きな影を落とし、学校の新しい存在意義を問いかけました。オンライン教育はすでに「標準装備」として、生徒の学習環境に組み込まれていることが常識化されつつあります。また、高等教育の現場では、学生の約半数が経済的に困窮しており、今後の学生生活の継続に不安を抱いています。社会に目を向ければ、経済的な打撃による社会不安の増大は避けられない事態になっています。

そこで、本学では、アフターコロナを生きる生徒たちのために、緊急の「新型コロナ特別支援策」を策定いたしました。高校においては、国の就学支援金により実質授業無償化が進んでおりますが、中学に関しては殆ど手立てがありません。よって本学では、中学において次年度の新入生はもちろん、在校生に対しても支援を行います。以下にその概略を示しますが、同様の支援策が全国に広がり、アフターコロナを生きるすべての生徒のみなさんにとって少しでも安心できる取り組みとなることを願っています。ぜひ、取材をお願いいたします。

《開星「新型コロナ特別支援策」概略》

中学校における取組

- ・全人的な教育を実施するために、出願資格から「将来大学を目指すもの」を削除します。
- ・入試の科目数を4教科から3教科（理社の選択）に変更します。
- ・面接点数の割合を高め、全人的な評価を行います。
- ・**新型コロナ特別支援策として、令和3年度は全生徒に1万円の奨学金を支給します。**（在校生含む）

高校における取組

- ・授業進度を保証し主体的な学びにつながるツールとして、全入学生にタブレットを持たせます（中学ではすでに実施）。
- ・全人的な教育を行うために、全生徒を対象とした地域特化型の探究活動を実施します。
これは、生徒自身が将来を切り開くための力を、地域の力を活用して身に付ける授業です。
- ・生徒一人一人の進路希望を叶えるために、すべての進路希望に対応する進路指導を実施します。
これは、生徒のみなさんに安心して進路選択をしていただけるようにするものです。

以上

＜学校概要＞ 学校法人 大多和学園 開星中学校・高等学校

- ◆理事長・校長 大多和 聡宏
- ◆創立 大正13（1924）年「松江ミシン裁縫女学院」として創立
- ◆建学の精神 「品性の向上をはかり 社会の発展に役立つ有望な人材を育成する」
- ◆校訓 「立志 明朗 創造」
- ◆生徒数 中学 66名 / 高校 412名（令和2年5月現在）

【本件に関するお問い合わせ】

募集広報部長 田中 薫 k-tanaka@kaisei.matsue.shimane.jp
〒690-0017 島根県松江市西津田9丁目11番1号
TEL(0852)21-4915(代)・FAX(0852)21-9118
E-mail kaisei@kaisei.matsue.shimane.jp